

初等教科教育法(理科)

1. 担当教員

- ・ 名前: 内山 哲治(うちやま てつじ)

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

小学校理科において、学習指導要領を読み解き、模擬授業の実践を通して学習指導案の作成および授業作りが出来るようになることを目的とする。

(2) 到達目標

- ① 小学校学習指導要領・理科編および小学校学習指導要領解説・理科編について理解する。
- ② 小学校理科における学習指導案が作成できるようになる。
- ③ 小学校理科における授業作りが出来るようになる。

(3) ディプロマポリシーとの関連

人間発達学科のディプロマポリシー「保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の取得を目指す学生は、専門教育課程を通し、資格取得にとどまらず、よりよい職業人としての基礎を身につけること。」に基づき、特に小学校理科の知識と指導法の獲得を目指す科目である。

3. 授業の概要

模擬授業の実践および改良を通して、学習指導要領に基づいた小学校の理科教科に必要な知識と指導法を修得する。また、現職教員による提案授業・学習指導案などを読み解くことにより、さまざまな指導技術を磨く。本授業は、学生の実践を重視する。

4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	テーマ・内容	予習・復習	備考
1	オリエンテーション、教科としての理科について		学習指導要領の配付
2	小学校学習指導要領・理科編について	学習指導要領・理科編	
3	学習指導案の作成方法、グループ分け		
4	学習指導案作成および授業準備①		
5	学習指導案作成および授業準備②		
6	模擬授業(グループ①)と検討会		
7	模擬授業(グループ②)と検討会		
8	模擬授業(グループ③)と検討会		
9	模擬授業(グループ④)と検討会		
10	学習指導案の改訂および改良版模擬授業の準備		
11	改良版模擬授業(グループ①)と検討会		
12	改良版模擬授業(グループ②)と検討会		
13	改良版模擬授業(グループ③)と検討会		
14	改良版模擬授業(グループ④)と検討会		
15	まとめ		レポート課題の提示
	定期試験は実施しない		
予習・復習	普段から日常生活に見られる自然現象に目を向けておくこと。自然現象の中で「変だな?」「おかしいな?」「面白いな?」ということを探ることが、一番の予習であり復習となります。		

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

シラバス(公開版)

5. 評価方法(テスト、レポート、課題等へのフィードバックの方法も含む)

- ・ レポートおよび学習指導案(50%), 模擬授業の発表内容および質疑応答(50%)

6. 履修上の注意

受講に際して心配や不安なことがある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。